

データ入稿・作成時の注意点 (Macintosh)

○処理可能なアプリケーションソフト、データ

Post Script 3 のデータが変換可能になりました。

- ・ Quark Xpress 3.3、Quark Xpress 4.1
- ・ Illustrator5.0、Illustrator5.5、Illustrator8.0.1、Illustrator9.0.2、Illustrator10.0.3
- ・ Photoshop4.0、Photoshop5.0、Photoshop5.5、Photoshop6.0、Photoshop7.0
- ・ PageMaker6.0、PageMaker6.5
- ・ InDesign1.0、InDesign2.0
- ・ PDF (基本的に PDF の持ち込みは受け付けておりません。こちらから指定した場合に限ります。)

○フォントについて

旧ビブロスフォントは現在販売を中止しており、出力機器が対応しにくくなっております。Biblos 外字を使用してください。

FtginHround Ftghround GothicNum GthfrAlpha GthinAlpha GthHround GthinHround
GothicVpr JunHround KatakanaSquare PifontSym PifontUt1 PifontUt2 PifontUt3
PifontWk1 PifontWk2 PifontWk3 RyuminVpr RyuminNum RmfrAlpha RmHround

が旧ビブロスです。

Biblos 細明朝外字 Biblos 中ゴシック外字 Biblos じゅん外字 Biblos 太 G 外字 Biblos 太 M 外字
Biblos 新 GL 外字 Biblos 新 GM 外字 Biblos 新 GB 外字 Biblos 新 GU 外字

を使用してください。

OCF、CID、OPEN TYPE フォントの混在は避けてください。

・OCF フォント

使用可能フォントは、岡田印刷書体見本を参照してください。それ以外はアウトラインをとってください。フォントワークス社の書体で、Plus がついてないものは使用しないでください。

ロダン Plus-M →○、ロダン -M →× その他マティス、スーラも同様です。

ダイナフォントの「-PSM」がついてないフォントは使用しないでください。ATM のみにしてください。

・CID フォント

使用可能フォントは岡田印刷書体見本を参照してください。それ以外はアウトラインをとってください。モリサワ社のフォントは NewCID を使用してください。CID は使用しないでください。

・OPEN TYPE フォント

OPEN TYPE フォントの使用は、InDesign2 とそれに配置しているイラストレーターなどの部品に限定してください。その他のソフトで使用する場合はアウトラインをとってください。

○入稿・作成時の注意点

- ・ 入出力注文仕様書にはソフトの正しいバージョンを記入してください。エラーの原因となります。
- ・ 一つの仕事で、名前が同じファイルを使わないでください。フォルダを分けていても、リンクを更新した際にデータが入れ替わる恐れがあり、とても危険です。
- ・ リンクしている部品は必ず一緒につけてください。また、埋込み画像は修正できませんので、その部品もつけてください。
- ・ 拡張子をつけるときは正しくつけてください。
- ・ RGB は印刷には適しません。RGB は全て CMYK にしてください。
- ・ ぬりだしは必ず入れてください。仕上りから 3mm が理想です。
- ・ 線幅の設定はベタ (100%) の線で、最低でも 0.2pt、アミケイの場合は最低でも 0.5pt 程度にしてください。また、クォーク等に貼って縮小すると、その分線幅も細くなるので注意してください。
- ・ 印刷に適している画像解像度はカラーで 350dpi、モノクロで 300dpi です。それ以下の場合、きれいに印刷されないことがあります。
- ・ こちらで写真データの差し替え等を行ったデータに訂正を行う場合、データを渡しますのでそれで修正を行ってください。元データを修正してしまうとトラブルの原因になります。
- ・ 特色の場合はなるべく、CMYK のどれかに色を振り分けてください。

- ・特に指示がない限り、データの面付けはしないでください。
例えば 8 ページデータの場合、2 ページと 7 ページを面付けしない等
- ・アタリ画像はフォルダに入れて、本番で使用する画像と区別してください。
- ・日付と曜日が合わない事がよくありますので、必ずカレンダー等で確認してください。
- ・最終プリントアウトは必ず添付してください。修正した箇所や、直しの指示等は必ず添付コピーに書き込んでください。原寸プリントが理想的ですが、縮小プリントをしている場合はその比率を記入してください。

○各アプリケーションソフトの注意点

・ Quark Xpress 3.3、Quark Xpress 4.1

- ・入稿前には、スポットカラー・フォント使用状況・画像使用状況のチェックを行ってください。
- ・メジャーパレットの「ボールド」、「アウトライン」、「シャドウ」は使用しないでください。
- ・TIFF 画像のバックの色は「なし」ではなく「白」にしてください。
- ・横組み縦組みの設定に注意し、綴じの方向を間違わないようにしてください。(右綴じ…縦、左綴じ…横)

・ Illustrator5.0、Illustrator5.5、Illustrator8.0.1、Illustrator9.0.2、Illustrator10.0.3

- ・トンボ機能のトンボは使用しないでください。トリムマークを使用してください。
- ・画像を配置している場合、必ず配置した画像を含めて保存してください。
- ・RGB で色をつけないでください。
- ・フォントの孤立点が残っていることがよくあります。入稿前にフォントの検索・置換で確認して、必要のないフォントは消去してください。
- ・マスクの図形には絶対に線や塗りの設定を入れないでください。出力時に化けることがあります。
- ・Illustrator に Illustrator のデータを配置しないでください。出力時に化けることがあります。
- ・欄外のオブジェクトはなるべく消去してください。
- ・低いバージョンで保存するときは化け等に注意してください。
- ・スミ文字やスミケイ以外の色にオーバープリントをしている時は、その箇所を出力紙にチェックしておいてください。

・ Photoshop4.0、Photoshop5.0、Photoshop5.5、Photoshop6.0、Photoshop7.0

- ・イメージのモードは CMYK にしてください。RGB は印刷に適しません。
- ・保存形式は TIFF か EPS にしてください。
- ・レイヤーは統合、 α チャンネルは削除してください。
- ・EPS 保存の JPEG 圧縮データも変換が可能です。エンコーディングは最高画質・最低圧縮率がよいです。
- ・パスで切り抜きをする場合は少し内側を切り抜いてください。
- ・切り抜きの時のパスの平滑度に注意。数字を入れないか 1 がいいです。大きい数値だと直線に近くなります。
- ・デジカメなど 72dpi の画像は適した解像度まで上げ、サイズも調整してください。
- ・画像のゴミやほこりに注意してください。100%表示で見えるものは出力されます。

・ PageMaker6.0、PageMaker6.5

- ・横組み縦組みの設定に注意し、綴じの方向を間違わないようにしてください。(右綴じ…縦、左綴じ…横)

・ InDesign1.0、InDesign2.0

- ・InDesign に使用するフォントは、CID フォントと OPEN TYPE フォントのみにしてください。
その他のフォントはアウトラインをとってください。
- ・横組み縦組みの設定に注意し、綴じの方向を間違わないようにしてください。(右綴じ…縦、左綴じ…横)
- ・Photoshop のレイヤーデータや Illustrator のネイティブデータは、エラーが起りやすくなるのでなるべく配置しないでください。Photoshop は EPS か TIFF、Illustrator は EPS のデータがよいです。